

災害への備えを...

大阪北部地震に次いで西日本大豪雨... 一刻を争って救助、被災者支援と復旧を



荒川区も豪雨災害の危険が

豪雨災害にあわれたみなさまに心からお見舞いを申し上げます。また亡くなられた方々に心から哀悼の意を表します。

一刻を争って救援活動の強化、とりわけ多数の方が猛暑の中避難生活をしておられ避難生活環境改善など緊急課題です。

大阪北部地震に続き、こんどは西日本を襲った大豪雨です。一夜にして嘗々と築いてきた地域が消失、多くの尊い人命が奪われました。今回の豪雨は、12府県で死者175人に上る(11日現在)など時間を追うごとに被害が拡大しています。すでに災害救助法が8府県98自治体に適用されるなど過去例のない大災害となっています。

食料の「ローリングストック」はおすすめ、簡易トイレなど家庭内備蓄も工夫して

今回の豪雨被害は、自然災害の恐ろしさを示しました。地震、水害問わず、いざという時の備えは必要。いま備蓄方法として専門家も勧める、使ったら補充の「ローリングストック法」が注目を集めています。方法は簡単で、普段の買い置き食品を増やし、一定の期間で消費し買い足していくものです。無理なく、賞味期限を気にせずにストックできそうです。



また携帯トイレ(断水や排水不可となった洋式便器等に設置し使用する袋など)の備蓄も必要です。家具転倒防止など屋内安全対策と合わせて、各ご家庭でのとりくみが必要です。

また携帯トイレ(断水や排水不可となった洋式便器等に設置し使用する袋など)の備蓄も必要です。家具転倒防止など屋内安全対策と合わせて、各ご家庭でのとりくみが必要です。

荒川区は、現地自治体に問い合わせはありますが、具体的な支援はこれからです(10日現在)。ぜひ積極的な対応を求めたいと思います。

日本共産党は、全国で募金活動とボランティアを呼びかけるとともに、他の野党とも共同して、豪雨災害対策を最優先した対応を政府に求めています。

荒川区も水害は無縁ではありません。国が200年に一度など豪雨で荒川の堤防が決壊した想定を示し、荒川区も具体的な水位と避難行程表を示しています。

避難と同時に、決壊の可能性が指摘されている堤防の補強など抜本が必要です。「天災は忘れた頃にやってくる」ではありませんが、改めて災害対策を政治第一の「安全保障」として取り組むべきです。

横山幸次

日本共産党荒川区議会議員団

区政報告
ニュース

702

2018年7月15日
発行 日本共産党区議団
3802-4627
fax 3806-9246
arajcp@tcn-catv.ne.jp

横山区議事務所
荒川区町屋5-3-5
3895-0504
Eメールアドレス
kouji.office@gmail.com

町屋事務所のメールアドレスを変更しました。
kouji.office@gmail.com
です...

裏面 手話言語条例、区の基金は...など

定例法律相談会 8月の法律相談

はお休みします
次回は9月3日

(お急ぎの場合ご連絡下さい)

弁護士と横山区議が相談をお受けします。お急ぎの場合は、北千住法律事務所の相談日などご紹介します。
生活相談は、随時受付しています。
TEL&FAX 3895-0504
不在時は、留守電へ、後で連絡します。
区役所控室 3802-4627



配備されている岡崎市消防所から出動、昨年7月の九州北部の豪雨災害で派遣された(下)



今回の西日本豪雨で注目を集めているのが「あらゆる災害現場への人員・物資の搬送や救助救援活動」が可能で全地形対応車「レッドサラマンダー(左写真)」と呼ばれる特殊車両です。東日本大震災を教訓に消防庁の切り札として配備。昨年の九州の豪雨に初出動しました。しかしこの車両は、全国に一両、愛知県の岡崎市に配備されているだけです。今回の派遣先は広島でなく岡山のです。しかし災害列島日本であつたの一両とは

なんととも納得できません。欠陥機オスプレイ1機170億円ですが、レッドサラマンダーは1億円ちょっとです。また、今回大被害を受けた倉敷市真備町は、過去も同じ河川が繰り返し氾濫し、今回も同じ浸水域を想定、河川改修の計画もあつたようですが、実施されていません。安倍政権の目玉「国土強靱化計画」って何だ? わかつていて河川改修が遅れたとすれば、国、地方問わず政治の不作為が厳しく問われるでしょう。(横山幸次)

まの話題あれこれ
全国でレッドサラマンダーは1両あるだけです...
災害列島でこの体制でいいのか? これで「国土強靱化」?



手話言語条例が制定されました 誰もが安心して暮らせる地域へ



条例制定後、区役所前で関係者と記念写真

7月5日の区議会本会議で、荒川区手話言語条例が全会一致で可決・成立、23区では2番目の制定となりました。荒川区聴覚障害者協会のみなさんや手話通訳者、手話サークルの方々など30名以上が傍聴、みなさん喜びにあふれていました。

共産党区議団は、条例賛成討論（斎藤くに子区議）で手話言語が手の形、位置、動き、眉の上げ下げうなずきなど表情にも文法的な意味があり、音声言語と対等な言語である、手話がる

手話をはじめ点字、筆談、難聴対策など 情報・コミュニケーション、社会参加保障を

手話は、聴覚障害者の中でもろう者の言語です。一方「難聴者」と「中途失聴者」は、日本語がベースで筆談などで情報アクセスやコミュニケーションをとることができます。また、難聴・聴こえの問題では、補聴器の使用などが必要です。視覚障害者の場合は、点字とともに音声による読書権保障や代読、代筆なども課題です。災害時のコミュニケーション手段もいまからしっかりした準備が必要です。これらに対応するために情報コミュニケーション条例の制定も急がれます。



う者の生きる力であるだけに、手話への理解及び普及をすすめる施策の具体化を求めました。

今後区は、遠隔手話通訳サービス・電話代行サービス 簡単な日常手話修得の講習会、事業者向けの手話通訳者無料派遣事業、理解促進映画会（8月予定）条例制定記念イベント（11月予定）など進めます。

同時に共産党区議団は、委員会以下の実現を求めました。

区役所各窓口到手話推進委員、ろう者の雇用促進、遠隔手話通訳筆談音声認識の機能が入ったタブレットは障害福祉課以外にも配置、図書館に手話特設コーナー、店舗、事業所、病院などに筆談ボードや筆談ポイントガイド配

布、店舗専用コミュニケーションボード作成、費用助成、従業員が簡単な手話ができるよう支援

コミュニケーションボードを町会マンション等にも配布

学校で手話学習教材の配布と理解推進教育

中途失聴者への支援

手話通訳者の増員と処遇改善

ろう者の介護入所施設の整備

や通所施設への支援

こうした施策実現は、全ての区民にとって住みやすい地域社会をつくる第一歩となります。ぜひ実現に力を尽くしたいと思います。



今週のデータ 富裕層上位40人の資産は 日本全世帯下位半分の資産と同じ

「富裕層上位40人の資産」日本の全世帯の下から半分が持つ資産（預貯金など）は、実はアベノミクスの正体は「超富裕層だけの資産倍増計画」。加えて、貯蓄ゼロ世帯を427・4万世帯も増加させ、貧困と格差をかつてない規模で急激に拡大させているのがアベノミクスなのです。

世界では、大富豪8人が地球人口下位36億人分の資産と同じと国際機関から発表。度外れた格差貧困は、社会の持続可能性を壊します。ポスト資本主義が世界的に模索されているのも当然です。

富裕層上位40人の資産が2倍増、貯蓄ゼロ世帯は427.4万世帯増



当初見込みを上回って基金は増加！ 区財政からも区民の要求実現は可能

左下の表は、今年4月段階の区の貯金＝基金の残高＝327億円余となっています。しかし2017年度の予算段階では、年度末で281億円余で見込んでいましたが、46億円も上積みしています。さらに2017年度決算はこれからです。決算に合わせて剰余金が発生、ほぼ全額積みますのでこの額をさらに上回るのは確実です。

しかも使途目的のない財政調整基金は、場合によっては17

2018年4月の各基金状況(監査報告より)	
財政調整基金	16,815,493,416
災害対策基金	1,427,827,705
特別区債等管理基金	3,329,354,157
義務教育施設整備基金	5,728,186,893
産業振興基金	725,995,598
健康・福祉基金	188,993,674
公共施設等整備基金	3,289,043,024
スポーツ振興基金	98,465,961
芸術振興基金	100,038,473
介護保険給付準備基金	1,049,739,569
合計	32,753,138,470

左下の表は、今年4月段階の区の貯金＝基金の残高＝327億円余となっています。しかし2017年度の予算段階では、年度末で281億円余で見込んでいましたが、46億円も上積みしています。さらに2017年度決算はこれからです。決算に合わせて剰余金が発生、ほぼ全額積みますのでこの額をさらに上回るのは確実です。

しかも使途目的のない財政調整基金は、場合によっては17

0億円台にのぼる可能性もあります。そもそも区民のためです。その一部を区民の暮らし応援に回すことは、当然ではないでしょうか。